

市幹部と4県議が懇談

アイプラザ存続など協力訴える

豊橋市



早川市長らが4人の県議に要望

豊橋市の早川勝市長はじめ加藤、細川両助役など幹部と豊橋市選挙区選出の4人の県議が一堂に会した懇談会が18日、豊橋市役所会議室で開かれた。毎年行っているものだが、市側が路面電車活

性化推進事業や外国人児童生徒に対する教育の充実など追加8項目を中心として説明。豊橋勤労福祉会館(アイプラザ豊橋)の存続など懸案事項3件を含む計46件について、協力

早川市長は冒頭あいさつし、要望事項のポイントを挙げ、説明しながら協力要請した。

石原康次企画部長が具體的に説明した。追加8項目は先の2項目のほか、大山塚跨線人道橋改築事業▽バス運行対策

事業▽豊橋海岸浸食防止事業▽牧野町中央公園整備事業▽児童厚生施設等整備費補助金1の6項目。

路面電車では、新型車両の導入をメインとしたLRT整備事業、外国人児童生徒に対する教育の充実では、900人を超す外国籍児童生徒の支援のため、日本語教育適応の建設に力を入れた。

事業▽豊橋海岸浸食防止事業▽牧野町中央公園整備事業▽児童厚生施設等整備費補助金1の6項目。代わって、三河港航路ならびに泊地の浚渫(しゅんせつ)など7項目を削除。懸案事項では愛知県単独補助金の削減措置の見直しの1項を追加し、2項目を削除した。継続的な要望として設

補助▽豊橋海岸高潮対策

学級担当教員配置基準の

見直しや教員採用時の配慮事項の設定などを求めた。

なると、三河港航路ならびに泊地の浚渫(しゅんせつ)など7項目を削除。懸案事項では愛知県単独補助金の削減措置の見直しの1項を追加し、2項目を削除した。継続的な要望として設